



第45回 毎日こどもピアノコンクール 札幌地区予選 小学校3年生の部

審査員講評

うめきやすよ
梅木康代先生（当番審査員）

札幌小学3年生の部門予選会に参加されたみなさまへ

今年は、「45回記念毎日こどもコンクール」の開催となりました。

会場にはたくさんの関係者、保護者が温かい拍手の声援の中、予選会がはじまりました。

私たちは、会場最後方で審査をさせていただきましたので、会場の様子や雰囲気が手に取るように伝わって参ります。中には、「この演奏者のお父様かな・・・」と思う、割れんばかりの大きな音で拍手を送っている姿が多々ありました。我が子を心から応援するその様子に、出演者はもちろん、ご家族、担当の先生、関係者の同心協力として本日を迎えているということが伝わり、心が熱くなってきました。

小学3年生の課題曲は、プレインヴェンション、インヴェンション、小プレリユードなど、一気に難しくなり、飛躍的な成長を感じることができる学年です。テーマの扱い、構成感、拍子感、ハーモニー、調性など、多面的に楽譜から読み取り、自然にコントロールしながら演奏につなげることは、とても大変です。見事に表現し、ご自分の演奏として伝わる演奏がたくさんあり、審査員の中でも感心する声が上がっていました。一方、冒頭、「f」または「mf」とある曲では、堅い音に感じてしまう演奏もあり、「f」の加減を考えた始まりの工夫が必要とも感じました。

またアウフタクト、休符からはじまる音楽に対しても弱拍の音楽を意識すると、より作品が生き生きと伝わると思います。

選択曲については、楽譜をよく理解し練習を重ねて、皆さんの個性と作品が一つになり心から伝わる魅力的な演奏があり引き込まれていきました。

一方、椅子とピアノとの距離があり、腕が伸びきってしまい、力んでしまう演奏。また、手首が下がっていて指先がコントロールできないなど、まだ成長段階ゆえの課題も見受けられます。

その結果、「p」は音が抜ける。スタッカートは堅い表情。長い音価、ロングトーンは広がらない音質になる。また、クレッシェンド、デクレッシェンドなどのコントロール加減が不自然などテクニックの強化で改善する演奏も見受けられました。

でも、コンクールに挑戦したからこそこれらの課題が見つかり、前進していただきたいと願っています。

「夢中になって、一生懸命、やってみること。これ以上、できないというほど、いつも全力で向かう」「うまくいっても、うまくいなくても全力をだしきることは、気持ちがいいよ」という「赤々と燃える『火』のような心」を育てた期間であれば、嬉しいです。

小学校3年生の部

並びは演奏順です

第45回 毎日こどもピアノコンクール
札幌地区予選



菅原嘉恭

中島悠翔

石黒乃愛

田中美耳

高松和世



石垣楷人

榊原りら

有光朱音

五十嵐光

山本夏怜

小川愛莉

布施亜子

明田詠乃

山口まひろ

西村未和子

道下陽真理

金澤彩香里



鈴木絵莉奈

須藤颯一郎

佐藤穂高

木下知美

松山あかり

瀧川緋奈々

本杉柊

佐藤舞柚

古川湊

佐藤作哉

小林礼佳

平田優実

小学校3年生の部

並びは演奏順です

第45回 毎日こどもピアノコンクール
札幌地区予選



川村奏介

久保田実莉

鈴木莉乃

大西葵音

池田百花

末村虎太郎

山崎紗里

関口結月

田中琉輝

齊藤櫻

富田弦暉



下田結菜

鈴木麻莉奈

高尾湊

下総悠陽

安田橙真

伏見咲希

高野ななみ

嘉多山颯太

高松さら

朝野凜